

夢、私たちに。

わたしのひとこと



結婚した～！！

白馬町 酒井 拓也

白馬に住んで早くも11年が経ちました。住むきっかけは全日本スキー技術選手権に出たことでした。最初に出た大会が、八方尾根スキー場だったため、翌年から冬は八方尾根スキースクール、夏は建築板金業で働かせてもらってきました。最初は助けてくれた人もたくさんいましたが、やはり村独特のよそ者だからというアウェー感を感じることも少なくありませんでした。今では知り合いも増え、多くの人に助けられ、優しくして頂いています。

今年、7月には白馬村の方と結婚することも出来ました！今までは、自分のことで精一杯でしたが、これからは村が良くなるように少しでも協力していければと思っています。

最後に地元の方にお願ひがあります。白馬は地元の人々の力はもちろん、地元以外の人々の力もすごく大事だと思うので、よそから来たばかりの人にやさしくしてあげて下さい。



日本一美しい散歩道

和田野 津野 隆之

私の「日本一美しい散歩道」、それは松川沿いの工事用道路。

白馬三山から鹿島槍まで眺められ、春にはニセアカシアの白い花の香りを楽しむ。「ここに桜並木が欲しいね」と友人に言えば、毎年10本位ずつ大山桜を植えてくれた。白馬村も「日本桜の会」から寄贈された桜約200本を植えてくれた。100年後の桜並木が楽しみだ。

私は花の絵を描いたり教えたりしている。この道沿いにも珍しい草花や蝶がいる。興味深く観察している。フデリンドウ、ピンクの野バラ、シナノナデシコ、カセンソウ、コマツナギ、ヌルデの紅葉、又これらを食草とするヒメシジミやベニシジミという、とても美しく小さな蝶。大切な白馬の住民だ。

往復約2kmを妻と歩く。対岸にも「日本一美しい散歩道」が出来るといいなと言ひながら・・・歩く。皆さんも一度歩いてみて下さい。



白馬で暮らすこと

白馬町 中西 拓

スキーがしたくて大阪から白馬に移住してきて、多くの方の応援で念願のオリンピックに出場することができました。白馬町に引っ越してきたころは分からないことばかりでしたが、皆さんにいろいろと教えていただいたり、お祭りや消防団で同世代の仲間ができて、充実した生活を送っています。さのさかスキー場に勤めていたあいだにも、多くの方にお世話になりました。

26年の神城断層地震では1か月間入浴ができなくなりましたが、周囲の皆さんに助けていただき、乗り切ることができました。

こうして振り返ってみると、人と人のつながりが、私の暮らしを豊かにしてくれているのだと感じます。この村で暮らせていることは幸せであり、誇りでもあります。これまでの経験や出会えた方々に感謝しながら、白馬ならではの生活を送りたいと思います。

編集後記

7月10日の参議院選挙も終わり、暑い夏を迎えました。今年から8月11日を《山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日》として、「山の日」に制定。白馬村は山と共存してきた村でもあり、豊かで美しい自然環境を守る、楽しい安全な登山を提供するなど、特別な祝日です。

また6日、9日は広島、長崎平和記念日、15日は終戦記念日です。あの「堪へ難キヲ堪へ忍ヒ難キヲ忍ビ」の一節で戦争は終わりましたが、日本人戦争犠牲者は310万人と記録されています。

山を親しむためにも観光を楽しむためにも、戦後を続ける政治を追求したい。

(加藤 亮輔)

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 議長 | 北澤 禎二郎 |
| 委員長 | 伊藤 まゆみ |
| 副委員長 | 松本 喜美人 |
| 委員 | 加藤 亮輔 |
| 委員 | 津滝 俊幸 |
| 委員 | 太田 正治 |
| 委員 | 太田 伸子 |
| 委員 | 篠崎 久美子 |